

# 施策1-2-1 誰もが健康に暮らせるまちをつくりまします

**10年後のめざす姿**

- 健康に関する様々な情報が入手でき、楽しく健康づくりに取り組むことができます。
- 身近に相談できる医療機関があり、安心して治療を受けられる環境が整備されています。
- 安全な食生活や健康被害にすばやく対応できる地域の体制が整っています。

**施策の指標と目標値**

| モノサシ(指標)               | 現状  | 平成 25 年度 | 平成 30 年度 |
|------------------------|-----|----------|----------|
| 毎日、朝食を食べている人の割合 (実態調査) | 81% | 83%      | 85%      |
| 特定健診受診率                | 30% | 70%      | 75%      |

- 現状と課題**
- 健康は豊かな生活を営むうえでの基本であり、一人ひとりが主体的に心身の健康づくりに取り組むことが必要
  - 健康づくりのための総合的な支援とともに、安心して治療に専念できる医療環境を整備する地域医療連携をさらに推進することが求められる
  - 海外から新たな感染症が持ち込まれた場合など、健康危機発生時の区民への迅速な情報提供方策を含めた早急な体制整備が不可欠
  - 安全で健康な区民生活の実現には、行政、事業者、区民三者が各々の役割を果たすことが不可欠



## 施策の 方向性と主な事業

**① 心とからだの健康づくり**

- 健康で各種検診、自分に健康講

豊かな生活を営むための健康診査、診、健康相談の充実  
あった健康づくりが実践できるよう、座の開催など区民の自主的な活動を支援

**健康づくりの推進**  
 ◇ (仮称) すこやかおおたプランの策定  
 ◇ 健康診査・各種検診・健康相談の実施

**食育の推進**  
 ◇ 食育基本方針の策定、食の大切さの普及・啓発

**② 健康を支える保健・医療体制の充実**

- 健康維持や病気の予防に関する情報提供や啓発
- 休日診療、救急医療、小児科・産科の医療体制などについての地域の医療機関の連携体制の構築

**地域医療連携の推進**  
 ◇ 地域の病院や診療所など関係機関の連携体制を構築  
 ◇ 効率的で質のよい医療を提供できる体制整備

**③ 安全で健康な生活の確保**

- 大規模食支援
- 医薬品等
- 食中毒や
- ペットと

品製造施設の、より高度な衛生管理手法の導入  
取扱施設や浴場等への重点監視  
新たな感染症に対する健康危機への対策強化  
共生していけるマナー向上啓発

**食の安全確保**  
 ◇ 食中毒のリスクを考慮した重点監視指導の実施  
 ◇ 普及啓発協力団体との連携、食の安全についての見交換会等の実施

**区民との食品危害情報の共有**  
 ◇ 健康危機管理体制の充実

**健康危機管理体制の整備・充実**  
 ◇ 「大田区健康危機管理計画」に基づくマニュアルや体制の備訓練など実践的取り組みの充実

# 施策1-2-2 ユニバーサルデザインのまちをめざします

## 10年後のめざす姿

- ・道路や建物に限らず、サービス、情報提供などのユニバーサルデザイン化が進められ、障がいの有無、年齢、国籍などに係わりなく、誰もが円滑に生活できています。
- ・自立し、安心して、快適に暮らせる環境が、区民の理解と参加によってつくられています。



## 施策の指標と目標値

| モノサシ(指標)                | 現状    | 平成 25 年度 | 平成 30 年度 |
|-------------------------|-------|----------|----------|
| バリアフリーに対する改善度評価 (実態調査)  | 50%   | 70%      | 80%      |
| だれでもトイレの設置割合 / 公衆トイレ設置数 | 64.9% | 89.2%    | 95.9%    |

## 現状と課題

- 「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」を基本に、最初からバリアを限りなく少なくしようとする「ユニバーサルデザイン」の考えに基づいた社会の実現が必要
- 移動、情報アクセス、コミュニケーションなどが円滑にできる生活しやすいまちづくりが求められる
- 心のバリアフリーの普及啓発活動の拡充や、大田区の産業技術を活用した福祉機器の開発や普及にも期待
- 区民一人ひとりがユニバーサルデザインの視点を持ったまちづくりに参加し、互いに支えあえる社会の実現を目指していくことが必要



## 施策の 方向性と主な事業

### ① 安全で円滑に移動できるまちづくり

- ・複数の機関が協力し、多面的なバリアフリー化の推進
- ・区民や訪問者が安全で移動しやすいまちづくり
- ・ハンディキャップを持つ人の移動手段の確保

**ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定・推進**  
 ◇ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定  
 ◇アクションプランの策定・実施

**誰にもわかりやすいサイン整備**  
 ◇障がいなどのハンディキャップを持つ人や外国人、大田区を初めて訪れる人などに、わかりやすく、利用しやすい案内や表示などのサインを整備  
 ・サイン整備計画の策定  
 ・サイン整備の推進



**鉄道駅舎のバリアフリー化(再掲)**  
**だれでもトイレの整備(再掲)**

### ② 誰にも優しいまちづくり

- ・障がい者や高齢者、妊婦、子育て中の家族、外国人など
- ・心 ポートを必要とする人たちへの理解の促進
- ・心 のバリアフリーの推進
- ・住 宅改修の支援や情報への円滑なアクセス環境の整備

